



防災だより

危機管理室 ☎77-2500

自主防災組織 活動中!!

上島町には、自治会等で組織する「自主防災組織」が19団体あります(令和2年2月現在)。それぞれ、地域の実情に合わせて活動されていますが、中には、平成30年7月豪雨での経験を踏まえ、より実践的な訓練を自主的に行っている団体もあります。

皆さんも災害に備え、地区の防災活動に積極的に参加しましょう。

《魚島地区自主防災会》

魚島地区では、少ない人数で多数の傷病者を搬送する事態を想定して、救護担架を整備しました。整備後は、消防団と合同で実動訓練を行い、使用方法を確認しました。



《北地区防災を考える会》

岩城地区では、赤石、小漕、長江、船越の各地区自主防災会の4団体が合同で防災に関する話し合いを行い、給水タンク及び発電機を使用した給水訓練や、防災マップを作成しました。



火災・救急・救助は

119 消防だより

『春の火災予防運動防火パレード』

3月1日(日)、生名地区において、上島町消防団生名方面隊による火災予防防火パレードが実施され、住宅用火災警報器の設置調査と設置指導も行いました。このパレードは、毎年、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、春の火災予防運動に合わせて、各方面隊の持ち回りでを行っています。



令和2年2月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R2累計
火災	0	0	0	0	0	0	0
救急	13	6	12	0	0	31	67

令和2年2月29日現在

上島町消防署 ☎77-4118



春の農作業

今年は暖冬で、春先の気温も高い予報で、例年より発芽は早いと予想されます。また、温州みかんでは、結果母枝が少なく裏年傾向です。剪定講習会では、果梗枝の整理など軽めの剪定を指導しましたが、花を見てからの再剪定も必要です。また、夏野菜の定植時期も近いので畑の準備をしておきます。

温州みかんの再剪定

1 着花が少ない樹

着花が少ない樹では、発芽後の蕾が確認できるようにしてから再剪定を行ってください。花に被さるような枝は、光を遮り生理落果を助長するので、花に光が当たるように間引き剪定をします。温州みかんでは、間引き剪

定主体で柔らかい樹づくりを行います。今年は、少ない花をいかに着花させるかがポイントです。

2 着花が多い樹

園地ごとに樹の樹勢のばらつきは年々拡大しており、裏年でも着花の多い樹もあります。そのような樹では新梢が少ないため、有葉果摘蕾や直花全摘蕾を行い、来年の結果母枝を確保します。処理が遅くなると弱い芽しか出ないので早めにします。また、遅く芽が出るとミカンハモグリガの被害も受けやすくなります。

トマトの栽培

1 栽培のポイント

- 強い光を好むので、日当たり、風通しのよい畑を選びましょう。
- 雨で病気(灰色かび・疫病)がしやすいので、雨除け栽培をしましょう。
- 基肥の窒素分は少なめにしましょう。
- 根が深く張るので、できるだけ深く、広く土を耕し、堆肥も充分に施しましょう。

2 栽培管理

● 土づくり

植付け2週間前までに10㎡あ

たり、完熟堆肥40kg、苦土石灰1.5kg、化学肥料1kgをまいてよく耕します。肥料は控えめのほうが作りやすいです。

● 植え付け
植付け適期は、第1花房が1、2花、開花した頃です。早すぎると成長が旺盛になり、逆に遅すぎると果実のつきが悪くなります。苗の間隔は、50cm前後とします。

● わき芽の除去・摘心
各葉の付け根からわき芽が伸び



てくるので、小さいうちにかきとります。最後に収穫目標とする段数の花房が確認できたら、花房の上の葉を2枚残して芯を止めます。

● 追肥
第1花房の実がピンポン玉ぐらいになったころ、1回目の追肥として1㎡あたり60gを通路に施します。実のなっている間は20日おきに追肥します。

